

行動実態の把握について

1. 行動実態把握の必要性と目的
2. 調査手法について
3. 調査手法の詳細
4. 調査時期の設定

1 行動実態把握の必要性と目的

■必要性

- 中部横断自動車道（静岡・山梨間）の全線開通などの道路整備や、当プロジェクト（峡南地域道の駅ネットワーク）の施策実施により、**峡南地域に訪れる人や流れが大きく変容することが予想**。
- この変容を、客観的な**データを持って定量的かつ継続的に把握**することで、**プロジェクト実施による効果を把握し、次なる施策展開や情報発信の強化**へ繋げていく必要。

※前回の協議会において、観光客などの来訪者の行動実態を把握したいとの要望あり

■目的

中部横断自動車道（南部IC～下部温泉早川IC）の開通、新東名高速道路（新御殿場IC～御殿場JCT）、国道138号須走道路・御殿場バイパス等の道路整備による流動を把握するとともに、**峡南地域道の駅ネットワークプロジェクト実施による効果検証**を行う。

来訪者の交通実態を、【効果的】かつ【効率的】かつ【定量的】かつ【継続的】に把握し
峡南地域道の駅ネットワークプロジェクトの効果を常に高めていく

①本協議会による計画立案

②計画に基づくアクション



④新たな施策展開・
社会への発信

③行動実態の把握

2 調査手法について

・想定される検証内容ごとに、調査手法毎の特性を踏まえながら、効果的・効率的にデータを収集

カテゴリ	把握すべき事項	調査手法		
		①来訪者インタビュー 	②ETC2.0プローブ 	③人流ビッグデータ 
①来訪者属性	・ターゲット設定した地域（首都圏・静岡）から来訪しているか	●	●	●
	・ターゲット設定した属性（旅行形態・嗜好等）の来訪者はあるか	●		
②来訪先	・情報発信やイベント等を行った観光資源・施設に来訪しているか	●	●	●
	・人気のあるその他の資源はどこか	●		●
③周遊行動	・地域のゲートウェイ（道の駅、インフォセンター等）に立ち寄った後の周遊行動	●	●	●
	・観光資源・施設でどの程度滞在したか			●
④情報活用	・どこでどんな情報を収集したか。収集した情報を活用したか	●		
	・効果のあった情報発信媒体は	●		
⑤地域への評価	・道の駅ネットワークでの施策、峡南地域での観光/滞在での満足度はどうか	●		
	・情報、交通等に対する改善要望は	●		
	・峡南地域への再来訪の意向は	●		

※具体的な検討内容・データソースについては今後調整

3 調査手法の詳細

①-1:来訪者インタビュー

来訪者に直接ヒアリングを行い、細やかな情報収集を行う。

【インタビュー場所】

道の駅等 7箇所程度を予定。(道の駅TVの意見も併せて伺う。)

【インタビュー方法】

調査員2名程で来訪者に声かけを行う。

のぼりや看板などを掲示して、アンケートを実施中の旨をアピールし、回答数増加を期待する。

【調査日】

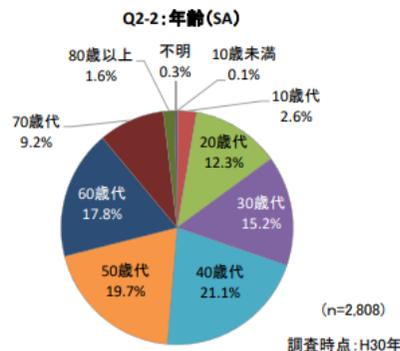
開通後に休日1日の実施とする。週末に峡南地域を訪れるのは午後以降が中心となることが想定されるため、日曜日に実施する。

(10月～11月を予定、詳細時期は自治体や関連施設等と調整)

【調査時間】

9:00～17:00を基本とする。(施設の営業時間に合わせて適宜調整)

▼アウトプットイメージ



①-2:来訪者インタビュー (アンケート)

インタビューに加え、アンケート形式での調査も追加で実施することにより、より詳細な情報を収集する。回答者数を増やすことと同時に、継続的に行動実態を把握しやすい環境を構築することを期待する。

【アンケート場所例】

インタビュー調査と同箇所を予定

【アンケート方法】

観光施設に協力してもらいアンケート及び回収箱を設置する。定期的に協議会関係者が回収する。

【実施時期】

10月～11月のうちの一定期間を想定。

【アンケート内容】

インタビューと同様の内容を想定。



3 調査手法の詳細

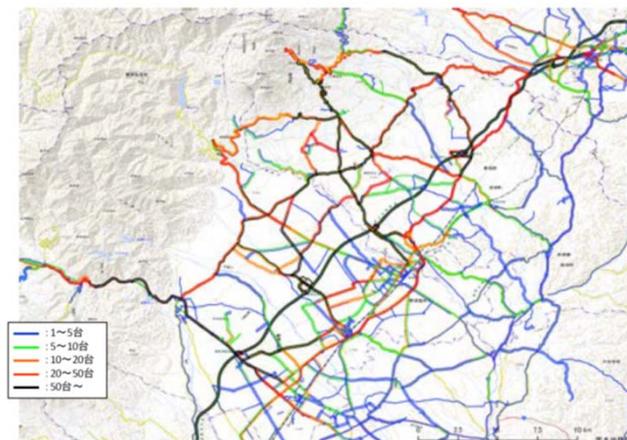
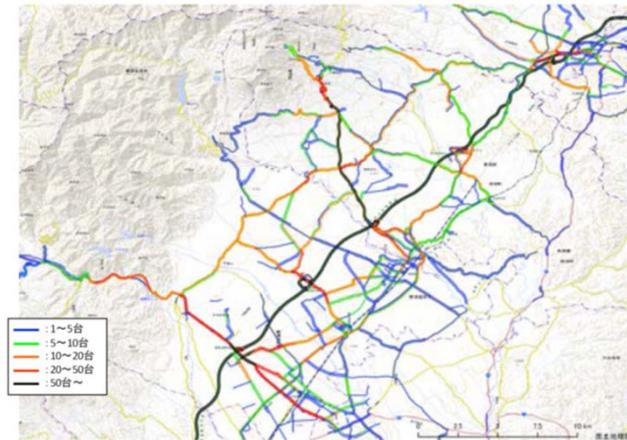
②:ETC2.0プローブデータ

- ・ETC2.0車載器を搭載した車両がデータ対象に、走行記録データを取得して集計を行う。
- ・集計を行うことで、走行経路を把握して来訪地や周遊行動を分析できるほか、走行速度を把握して渋滞など課題が発生している箇所も把握する。
- ・上記対応に当たっては、国土交通省へ情報提供を依頼。

【分析内容（例）】

来訪地

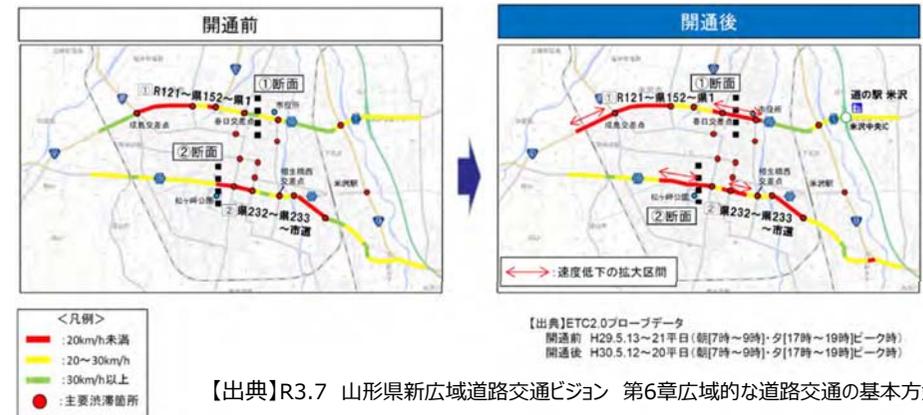
道路ごとに通過した車両台数を色分けして、訪問者数が多い状況を明示（人気資源の明確化）する。



【出典】
ETC2.0 プローブ情報による観光交通把握手法
第53回土木計画学研究発表会・講演集、鹿野島秀行・牧野浩志

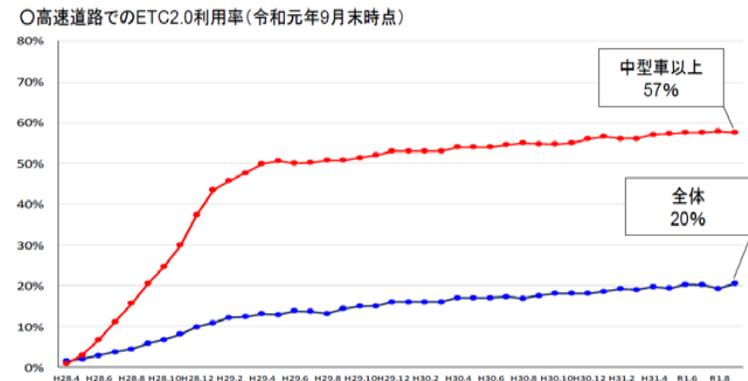
渋滞状況

道路ごとに道路状況を色分けし、渋滞状況に変化が生じた区間を具体的に把握し、必要に応じて改善策等を検討する。



※参考 ETC2.0利用率

令和元年9月末時点で20%がETC2.0であり、十分なサンプル数確保が期待できる。



3 調査手法の詳細

③ 人流ビッグデータ

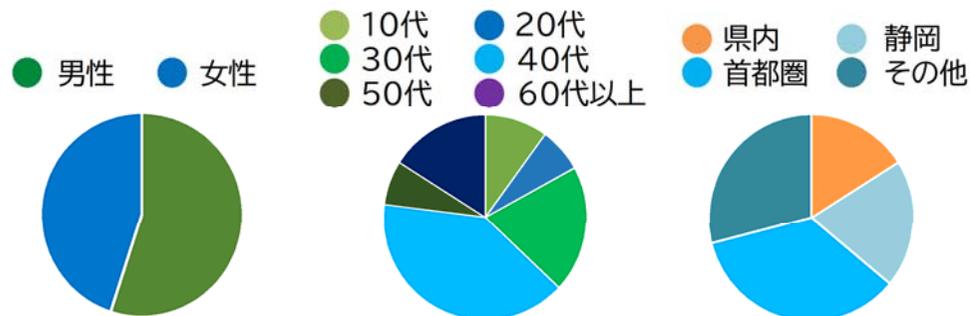
スマートフォンのGPS等の位置情報を使用して分析し、周遊行動や滞在時間などの分析を開通前後で行う。



【分析内容】

来訪者属性

峡南地域を訪れた人の属性を地図上で整理。どの地域からの訪問客が多いかなどを可視化し、課題を抽出する。



周遊行動

来訪者がどのように周遊しているか地図上に描画する。周遊量を線の太さで表現し、傾向を把握する。



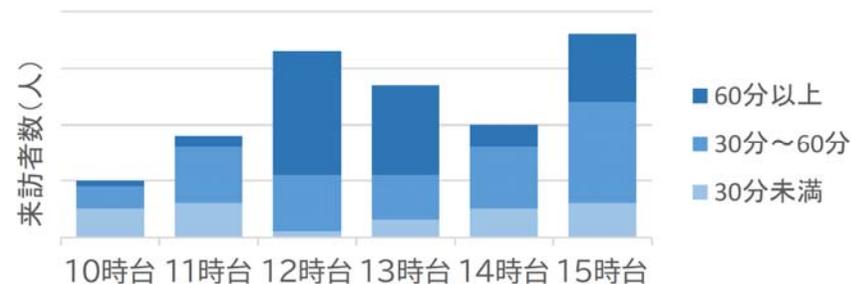
来訪先

来訪先地点をプロットする。プロット数の大小を色分けして、訪問者数が多い状況も明示（人気資源の明確化）も行う。



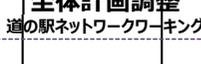
滞在時間・訪問時間

滞在時間や訪問時間を施設ごとにグラフ化。利用状況の実態など、質の面を評価し課題を抽出する。混みややすい時間の把握や、滞在時間に応じた追加施策の検討などへ繋げる。



4 調査時期の設定

- ・来訪者インタビュー調査は10～11月を予定する。
- ・人流ビッグデータの分析対象期間は、事後はインタビュー調査と同時期とし、事前は2年前（コロナ影響前）の同時期とすることを予定する。

		2019				2020				2021				2022	
中部横断 自動車道		'19.3.10 ・下部温泉早川IC ～六郷IC開通 ・新清水JCT ～富沢IC開通		'19.11.17 ・富沢IC～ 南部IC開通						★ 2021年8月29日 全線開通					
										'21.4.10 ・御殿場JCT～ 新御殿場IC開通 '21.4.10 ・須走道路、御殿場 バイパス(西区間)開通					
新東名高速 自動車道															
国道138号															
		～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4月以降	
道の駅 ネットワーク						第1回協議会 (8/19) 		全体計画調整 道の駅ネットワークワーキング 		第2回協議会 (4/15) 		計画具体化 道の駅ネットワークワーキング 		アクション 	
社会情勢 (新型コロナ)					緊急事態宣言* (R2.4.7～R2.5.25)				緊急事態宣言* (R3.4.25～R3.6.20)		緊急事態宣言* (R3.7.12～)			※山梨隣都県を対象	
来訪者イン タビュー調査 (ヒアリング) (アンケート)												開通後調査 (10～11月予定)			
ETC2.0 プローブデータ			事前期間 (コロナ影響前同時期)									事後期間 (開通一定期間経過後)			
人流 ビッグデータ			事前期間 (コロナ影響前同時期)									事後期間 (開通一定期間経過後)			